

看護研究に関するお知らせ

同意の取得について：

人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2017年2月28日）第5章第12、1（2）イの規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント（説明の同意）を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため、今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代わりに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

以下、研究の概要を記載しておりますので、本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご希望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

研究課題名：

『外来化学療法を行う血液内科患者の服薬アドヒアランス*に影響を及ぼす要因に関する分析』

*服薬アドヒアランスとは、患者さんご自身が服薬の必要性を理解した上で内服や服薬管理が行えることとしています。

研究機関名：順天堂大学医学部附属浦安病院

研究責任者：看護外来業務課 がん治療センター 看護師 鈴木千尋

研究目的：

血液内科の外来通院化学療法患者さんの服薬管理に関する実態からデータ分析を行い、患者さんの服薬管理に影響を与える要因を明確にすることを目的としています。

研究意義：

服薬管理が良好な方と困難である方にはどのような違いがあるのか、服薬管理に影響を与える要因を明らかにしたいと思います。その要因を把握した上で、患者さんに

対する効果的な看護介入を検討し、服薬管理を良好にする働きかけをすることで、副作用症状の予防や治療効果が最大限に発揮されることを期待したいと考えています。

研究の方法：

本研究の対象となる方は、西暦 2016 年 4 月 1 日から西暦 2017 年 3 月 31 日までの期間に、外来化学療法室で治療を受けた血液内科の患者さんのうち、治療の当日に治療に伴う内服薬を持参する必要性のあった方です。

利用させていただくカルテ情報は下記です。電子カルテから情報を収集し、分析に利用させていただきます。

年齢、性別、全身状態、ご家族との同居の有無、周囲のサポートの有無、介護保険の申請や利用の有無、内服薬の種類の数、末梢神経障害（しびれ）の有無、初回治療時の薬剤指導の有無、高額療養費制度の利用の有無、その他、薬の持参や服用に影響を及ぼしたと考えられる情報

研究実施期間：承認日～西暦 2018 年 3 月 31 日まで

個人情報の保護：

個人を特定できるような情報（氏名、生年月日、住所など）は収集致しません。また、本研究上必要があり収集したデータは匿名化を行い、厳重に管理致しますので、個人情報が外部に漏れることはありません。

本研究で得られた結果は、貴重な資料として学会などに発表させて頂くことがあります。院内の看護研究発表会や 2018 年第 3 回日本がんサポーターズケア学会での報告を予定しておりますが、個人を特定できるような情報は一切含まれません。

お問い合わせ先：

順天堂大学医学部附属浦安病院 がん治療センター

電話：047-353-3111

研究責任者：看護師 鈴木 千尋